

日本ASEAN友好協力50周年 を記念したASEAN特集

東南アジア諸国連合（以下、ASEANと表記する）は、インドネシア、フィリピン、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマーの全10カ国から構成される地域機構である。1967年に「バンコク宣言」によって結成され、当時はインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国が原加盟国だった。



Copyright © ASEAN-Japan Centre. [ASEANPEDIA] より引用

その後、加盟国が順次拡大し現在の10ヵ国となった。2022年のASEANサミットでは東ティモールのASEAN加盟が原則承認され、今後は正式加盟へともろもろの進んでいくこととなっている。

2023年は日本ASEAN友好協力50周年ということで、「日本ASEAN友好協力50周年記念国際シンポジウム」が開催され、首相によるビデオメッセージも発出された。また、日本企業によるさまざまな記念事業も予定されている。

本特集では、ASEANと日本の関係の振り返りや、今後の展望、商社のビジネスなどについてスポットを当てた。商社関係者と有識者による寄稿では、関係者の方々に多大な協力をいただいた。

本特集がすでにASEAN地域に進出している企業の他、これから進出を検討している関係各位にとって、参考となれば幸いである。

ASEAN構成国

| 国名 | 首都 | 人口 | 名目GDP(2022年) |
|--------|------------|-----------|--------------|
| インドネシア | ジャカルタ | 2億7,750万人 | 1兆3,200億ドル |
| フィリピン | マニラ | 1億1,730万人 | 4,042億ドル |
| シンガポール | シンガポール | 600万人 | 4,668億ドル |
| マレーシア | クアラルンプール | 3,430万人 | 4,063億ドル |
| ブルネイ | バンダルスリブガワン | 50万人 | 167億ドル |
| ベトナム | ハノイ | 9,890万人 | 4,088億ドル |
| ラオス | ビエンチャン | 760万人 | 157億ドル |
| カンボジア | プノンペン | 1,690万人 | 299億ドル |
| タイ | バンコク | 7,180万人 | 4,953億ドル |
| ミャンマー | ネピドー | 5,460万人 | 594億ドル |

国連人口基金「世界人口白書2023」、The World Bank “World Bank national accounts data, and OECD National Accounts data files” より作成